

福島第一 発電所構内における空气中放射性物質の核種分析結果

参考値

(データ集約 : 7/31)

採取場所	福島第一 1号機北側法面上		福島第一 1 , 2号機西側法面上		福島第一 3 , 4号機西側法面上		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度) 2
試料採取日時刻	平成23年7月30日 ³ 10時03分 ~ 13時03分		平成23年7月30日 ³ 9時47分 ~ 12時47分		平成23年7月30日 ³ 9時37分 ~ 12時37分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 ¹ (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 ¹ (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 ¹ (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	ND	-	ND	-	ND	-	3E-03

1 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

NDとは、 $< 10^{-1}$ と同じ意味である。

2 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

3 低流量(約5 l/分)のダストサンプラーを使用しているため1時間以上の採取時間を要している。

< 参考 > 毎日実施している西門の流量は約40 l/分

4 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

代表3核種の検出限界値は次のとおり。揮発性のI-131が約3E-6Bq/cm³、Cs-134が約9E-6Bq/cm³、Cs-137が約9E-6Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-6Bq/cm³、Cs-134が約6E-6Bq/cm³、Cs-137が約6E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。